

BOSE

LIFESTYLE ULTRA SUBWOOFER

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

 Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

この製品を水の近くで使用しないでください。

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース端子が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース端子は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事業者などにご相談ください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 安全な設置のための注意事項: 製品の下ゴム足がきれいな状態で、ゴミなどが付着していないことを確認してください。製品は清潔でほりのない、安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、すべてのゴム足が台の上にしっかりと載っている必要があります。音の振動によって製品が移動し、落下する危険がありますのでご注意ください。椅子や人がいる場所の上には設置しないでください。
- 火災や感電を避けるため、雨や水滴、飛沫、湿気などにさらされるような場所で本製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を本製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000 mを超える高地での使用には適していません。

- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- 製品ラベルは本体の底面にあります。

注: 本製品は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生・利用・放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本製品が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしているを確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信アンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダイノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本製品は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本製品は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダイノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体との間を20 cm以上離して設置して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャネルの移動体衛星システムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

レーザーカテゴリ = 2

CAN ICES (B) / NMB (B)

低電力無線デバイスに関する技術規則: 会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

FCC規制により、このデバイスの使用は屋内のみに制限されています。

このデバイスは、石油プラットフォーム、車両、列車、船舶、航空機での使用が禁止されています。ただし、高度10,000フィート以上を飛行中の大型航空機内では、5.925 ~ 6.425 GHz帯での使用が許可されています。

5.925 ~ 7.125 GHz帯の送信機は、無人航空機システムの制御や通信に使用することが禁止されています。

FCC ID: A94443537

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯2400 ~ 2483.5 MHzおよび5470 ~ 5725 MHz。最大送信出力20 dBm EIRP未滿 | 運用周波数帯5725 ~ 5850 MHz。最大送信出力14 dBm (25mW) EIRP未滿 | 運用周波数帯5150 ~ 5250 MHzおよび5945 ~ 6425 MHz。最大送信出力23 dBm EIRP未滿

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを5150～5350 MHzの周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべてのEU加盟国で屋内使用に限定されています。

									
AT	BE	BG	HR	CY	CZ	DK	EE	FI	FR
DE	EL	HU	UK (NI)	IT	LV	LT	LU	MT	NL
PL	PT	RO	SK	SI	ES	SE	CH	IS	LI
NO									



 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

電力状態に関する情報: 本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/compliance にアクセスし、該当する規則を選択してください。

注: 欧州委員会規則(EU) 2023/826の附属書III 2(d)に従い、ワイヤレスポートを無効化するための要件は、「単一のワイヤレスネットワーク接続を使用目的とし、有線ネットワーク接続機能のない製品には適用されません。」

有毒/有害物質または成分の名称および含有量										
	有毒/有害物質および成分									
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価ク ロム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジ ブチル (DBP)	フタル酸 ジイソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル)(DEHP)
PCB	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
金属/パーツ	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
プラスチック パーツ	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。										
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、 GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。										
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、 GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										
										

	制限される物質および化学記号					
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェニ ル (PBB)	ポリ臭化ジフェニ ルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。						
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「6」は2016年または2026年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joseliillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

入力定格: 100 ~ 240V~, 50/60 Hz, 180W

モデル443537. CMIIT IDはサブウーファアの底面にあります。

本製品には **Boseの利用条件** が適用されます: worldwide.Bose.com/termsofuse

ライセンス開示情報: Bose Lifestyle Ultra サブウーファアのコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Boseアプリ**を使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

GoogleおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

Bose、Bのロゴ、CustomTune、およびLifestyleは、Bose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: この情報はサブウーファアの底面に記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号: _____
モデル番号: 443537

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	7
-----------	---

サブウーファーの配置

推奨事項	8
------------	---

電源

サブウーファーを電源に接続する	9
-----------------------	---

サウンドバーに接続する

Bose アプリを使用して接続する	10
Bose アプリを初めて使用する場合	10
音声ケーブルを使用して接続する	11

サブウーファーの状態	12
------------------	----

補足事項

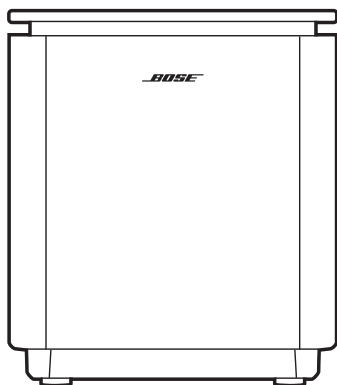
シリアル番号と認証マークの位置	13
お手入れについて	13
交換部品とアクセサリ	13
保証	13

トラブルシューティング

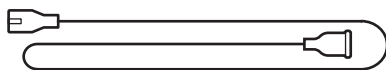
サブウーファーをリセットする	14
サブウーファーを工場出荷時の設定に戻す	15

内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose Lifestyle Ultra サブウーファー



電源コード*

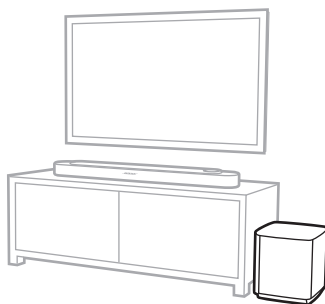
*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/lu-subwooferをご参照ください。

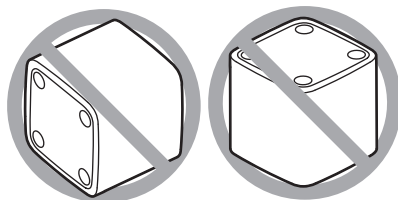
推奨事項

最高のパフォーマンスを発揮するには、サブウーファーを設置する際に次の推奨事項に従ってください。

- ・ サブウーファーの上には物を置かないでください。
- ・ ワイヤレス信号の干渉を回避するには、ほかのワイヤレス機器から **30 ～ 90 cm** ほど離れた場所に設置します。サブウーファーは金属製キャビネットや他の **AV** 機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- ・ サブウーファーは、ゴム足を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、ゴム足が台の上にとしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でサブウーファーの位置がずれることがあります。
- ・ サブウーファーをテレビと同じ壁沿いに置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。
- ・ サブウーファーの前面(**POWER** 端子のある側とは反対側)を、壁や家具などから **8 cm** 以上離してください。この面の下部にある開口部が塞がれると、音響性能に影響する恐れがあります。
- ・ 低音を強めたい場合は、サブウーファーを壁や部屋の隅に近づけてください。低音を弱めたい場合は、サブウーファーを壁や部屋の隅から離してください。
- ・ 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。

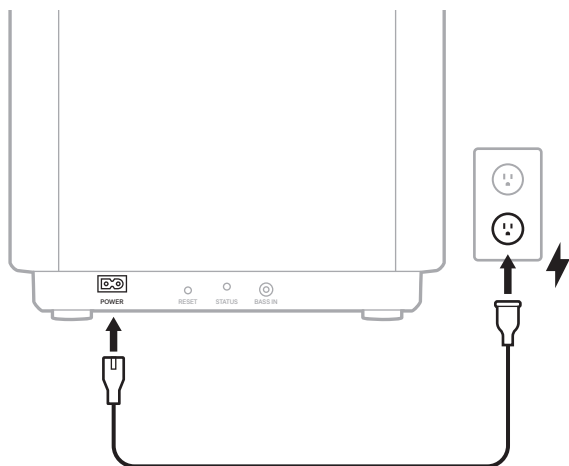


注意: サブウーファーの側面や天面を下にした状態で使用しないでください。



サブウーファーを電源に接続する

1. 電源コードをサブウーファーのPOWER端子に接続します。



2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

サブウーファーの電源がオンになります。ステータスインジケーターが白、赤、オレンジの遅い点滅を繰り返します。

注: 製品の初期セットアップ時には、ステータスインジケーターが白、赤、オレンジでゆっくり点滅します。サブウーファーを電源に再接続する場合、ステータスインジケーターは白でゆっくり点滅した後、白く点灯します。

BOSE アプリを使用して接続する

注: Bose アプリを使用してサウンドバーに接続できない場合は、音声ケーブルを使用して接続してください(11ページを参照)。

1. Bose アプリで、サウンドバーを選択します。

注: Bose アプリでサウンドバーに付けた名前を探してください。サウンドバーに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。

2. 設定メニューに移動して、サブウーファーを追加します。
3. サブウーファーが接続されたら、最高の音質を得るため、Bose アプリを使用して CustomTune サウンド調整オプションを実行することをおすすめします。このオプションは設定メニューから設定できます。詳細については、サウンドバーの取扱説明書をご覧ください。

Bose アプリを初めて使用する場合

1. モバイル機器で Bose アプリをダウンロードします。

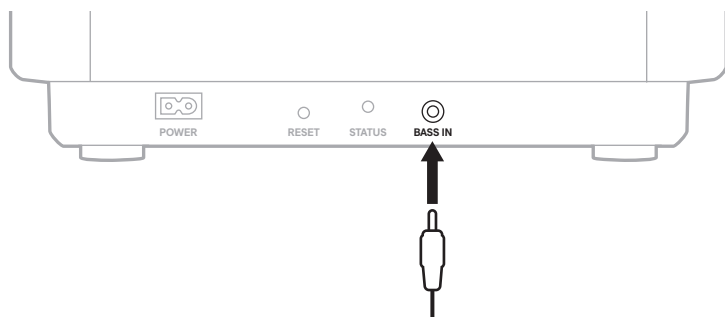


2. アプリの手順に従ってください。

音声ケーブルを使用して接続する

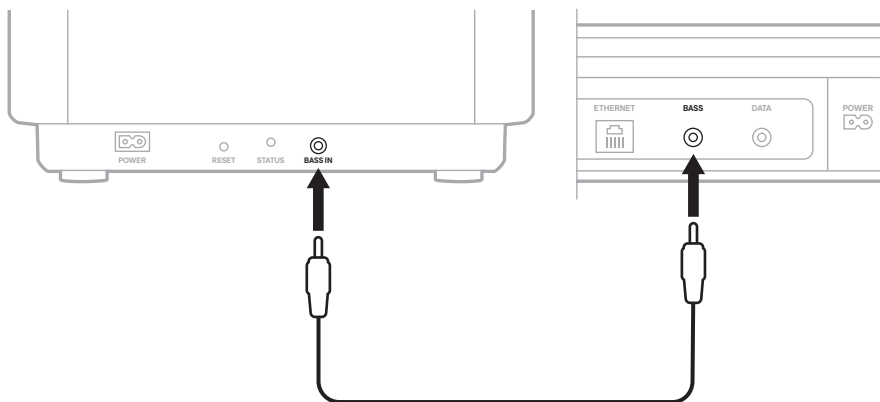
注記:

- 3.5 mm ステレオ音声ケーブルはヘッドホンやモバイル機器の接続に使用されるものです。お持ちでない場合は、別途ご購入ください。ケーブルはお近くの家電量販店などでもお求めになれます。
 - 音声ケーブルを使用してサブウーファーをサウンドバーに接続すると、サブウーファーのワイヤレス接続は無効になります。
- 3.5 mm ステレオ音声ケーブルの一方の端をサブウーファーの裏側にある **BASS IN** 端子に接続します。



- ケーブルの反対側をサウンドバー背面の **BASS** 端子に接続します。

注: お使いのサウンドバーによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。必ず **BASS** と表示された端子を使用してください。



- サブウーファーが接続されたら、最高の音質を得るため、**Bose** アプリを使用して **CustomTune** サウンド調整オプションを実行することをおすすめします。このオプションは設定メニューから設定できます。詳細については、サウンドバーの取扱説明書をご覧ください。

ステータスインジケータはサブウーファー背面にあり、サブウーファーの状態を表示します。



ステータスインジケータの表示

システムの状態

白、赤、オレンジの遅い点滅(繰り返し)	電源投入中、起動中 注: 製品の初期セットアップ時のみ発生します。
白の遅い点滅	起動中
オレンジの速い点滅	サウンドバーに接続中
白の点灯	サウンドバーに接続済み
白の速い点滅	CustomTune サウンド調整実行中
白の遅い点滅	アップデートをダウンロード中 注: サブウーファーをオーディオケーブルで Bose Lifestyle Ultra サウンドバーに接続している場合、ワイヤレス接続は無効となり、ソフトウェアアップデートは受信できません。
白の暗い点灯	ネットワーク待機状態(ワイヤレス接続時)
オレンジの暗い点灯	省電力スタンバイ(有線接続時)
赤の速い点滅	エラー Bose カスタマーサービスに連絡してください

シリアル番号と認証マークの位置

この情報はサブウーファーの底面に記載されています。

お手入れについて

サブウーファーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- ・ サブウーファーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- ・ サブウーファーの近くでスプレー等を使用しないでください。
- ・ 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- ・ 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/lu-subwoofer

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

サブウーファーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ・ サブウーファーが通電している電源コンセントにしっかり接続されていること。
- ・ すべてのケーブルが確実に接続されていること。
- ・ 音楽や映画など、低音が含まれる音声を再生していること。

問題が解決しない場合は、**Bose** アプリのトラブルシューティング機能、または次のサイトにある記事、ビデオ、その他のリソースをご利用ください：
support.Bose.com/lu-subwoofer-og

それでも問題が解決できない場合は、**Bose** カスタマーサービスまでお問い合わせください。

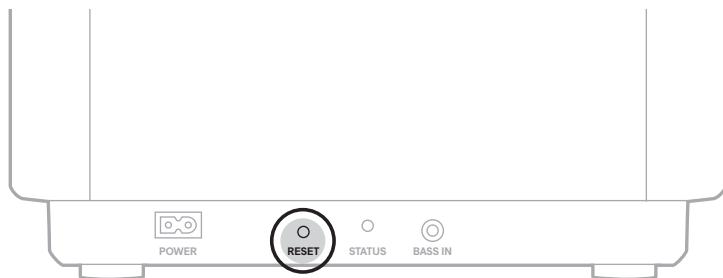
次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

サブウーファーをリセットする

サブウーファーが反応しない場合は、リセットすることができます。

注: サブウーファーをリセットすると、製品のコントロールがリセットされます。オーディオ、ネットワーク、または **CustomTune** サウンド調整の設定は消去されません。

リセットボタンを1回押します。



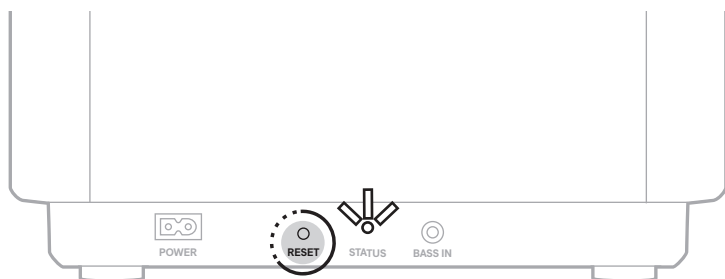
サブウーファーが再起動します。ステータスインジケーターに現在の状態が表示されます (12 ページを参照)。

サブウーファーを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、サブウーファーのオーディオ、ネットワーク、CustomTuneサウンド調整の設定がすべて消去され、サブウーファーが初期設定に戻ります。

注: サブウーファーを工場出荷時の設定に戻すと、ワイヤレス接続されている Bose Lifestyle Ultra サウンドバーは接続解除されます。

1. ステータスインジケーターが白く2回点滅するまで、リセットボタンを10秒間長押しします。



サブウーファーが再起動します。ステータスインジケーターが白、赤、オレンジの遅い点滅を繰り返します。

2. Bose アプリを使用してサブウーファーを接続します (10 ページを参照)。

